

第 238 回企画展示

# 加賀藩の藩校資料

第 15 回全国藩校サミット金沢大会によせて

期間 平成 29 年 9 月 13 日～10 月 30 日

場所 石川県立図書館閲覧室



石川県立図書館

# 展示によせて

平成29年9月30日から10月1日にかけて、第15回全国藩校サミット金沢大会が開催されます。

石川県立図書館では、加賀藩や石川県の学校の蔵書を引き継いだものをはじめ、様々な方法で収集した教科書等を多数所蔵しています。

今回は、これらの資料より「藩校で出版された教科書」「藩校の沿革」「藩校旧蔵の洋書」「明治の学校で出版された教科書」の4つのテーマで、加賀藩の藩校に関する資料を展示し、あわせて藩校について学ぶための図書や論文をご紹介します。

藩校に関する知識を深め、石川県の教育のルーツを感じ取っていただければ幸いです。

平成29年9月13日

石川県立図書館

## 展示資料 A

### ＜藩校で出版された教科書＞

寛政4年(1792)に開校した加賀藩の藩校明倫堂では、医学・本草学、大学章句、論語、古易断、孟子、小学、孝経、算学、和学、礼法、天文・暦学、令等の講義が行われました。のち、明倫堂では4種の書籍を出版しています。その4種の書籍をご紹介します。

#### 1. 四書匯参(四書朱子本義匯参)(全42冊)【K091.2/14】

王歩青撰 加賀藩 天保7年(1836)

印：「加賀国学蔵板」「学校」

※ 大学章句本義匯参(3冊)を展示。

#### 2. 白鹿洞書院揭示(全1冊)【K093.7/5】

明倫堂 天保10年(1839)

※ 白鹿洞書院揭示とは、朱子が白鹿洞書院を再建する際に定めた学生心得。明倫堂ではこれを揭示し、初学者は本書の講義を受けてから会読に入った。複本2冊を展示。

#### 3. 監本四書(全10冊)【K091.2/15～K091.2/18】

明倫堂 天保15年(1844)

※ 大学章句(1冊)中庸章句(1冊)論語集註(4冊)孟子集註(4冊)からなる。

#### 4. 欽定四経(全100冊)【K019.2/7】

加賀藩 [嘉永4年(1851)]

印：「加賀国学蔵板」

※ 御纂周易折中の一部を展示。

### ＜藩校の沿革＞

全国の藩校の沿革を知る基本的な資料に『日本教育史資料』があります。これは、文部省が全国調査を行って作成したもので、石川県でも文部省の求めに応じて調査を行っています。また、郷土史家の森田柿園は、寛政4年(1792)に創立された明倫堂の図面の写を作成し、藩校成立時の様子を知ることができます。

#### 5. 旧藩学校沿革調【K372/1009】

石川県学務課編・写 明治17年(1884)

- ・旧加賀藩立学校取調調書 旧加賀藩立壮猶館取調要項
- ・壮猶館地図
- ・旧加賀藩立医学校取調要項

※ 文部省の求めに応じて石川県学務課が行った調査の報告書。全29点の文書を合綴したものであったが、現在は解体して保存。

#### 6. 加藩金沢学校創立之図(金沢学校創立之旧図)【森田文庫 K372/5】

森田柿園写 嘉永7年(1854)

※ 金沢卯辰八幡社職厚見氏所蔵のものを嘉永7年に森田柿園が模写した。寛政4年(1792)創立(現在の金沢神社の近く)の際の図面。

<藩校旧蔵の洋書>

石川県立図書館には、壮猷館等で使用された洋書が数多く伝えられています。洋書には、様々な印が押印され、成立や国内に入ってきた由来を知ることができます。今回は蔵書印に注目して7点を展示します。

7. J.N. Calten. : Leiddraad bij het onderrigt in de zee-artillerie. (艦上砲の教育の指針)【E559/55】

L. C. Vermande, Medemblik, 1842.

別書名：カルテン氏舶砲書／印：「長崎東衛官許」

※ 天保14年(1843)幕府が翻訳した『海上砲術全書』の原書。加賀藩では、幕府と別に藩の洋学者藤井三郎が弘化4年(1847)に『舶砲新編』という翻訳書を作成した。「長崎東衛官許」は長崎奉行所立山役所の印で、幕府の許可を受けて輸入された洋書であることを示す。

8. Von Lossau : Karacterschets van Napoleon's veldtogten.(ナポレオン遠征の研究)【E393/17/1,2】

Drukkerij-van Broese & Comp., Breda, 1849.

voor rekeng van de Koninklijke Militaire Akademie

別書名：千八百四十九年ナポレオン戦争書／印：「長崎東衛官許」「壮猷館文庫」「加州蔵書」

9. Reglement op de exercitien en manoeuvres der infanterie, vol. 1,2(歩兵運動軌範)【E396/58/1, 2】

Drukkerij van Broese & Comp., Breda, 1855.

Nagedrukt te Nagasaki in het Jaar Ansei 4, (1857)

印：「壮猷館文庫」「長崎官事点検之印」「安政丁巳」

※ 「長崎官事点検之印」「安政丁巳」は、安政4年に長崎の活字版刷立所で印刷された和刻洋書であることを示す。

10. Plates to illustrate Macaulay's treatise on field fortification, the attack of fortresses, military mining, and reconnoitering.(野戦用築城のマッコリー氏指示による説明書)【E559/67】

Bosworth & Harrison, London, 1860

別書名：マコレイ氏築城書

11. A.-D. Vergnaud et: Nouveau manuel complet de l'artificier. (大砲の新完全解説書)【E559/39】

Librairie Encyclopedique de Roret, Paris, 1865

別書名：大砲火薬書／印：「弾薬所蔵書」

12. J.E. Portlock : Course of Artillery, geometrical drawing, and fortification. pt. 3. (大砲術論 幾何的描写と築城)【E559/25】

George Edward Eyre and William Spottiswoode, London, 1863.

別書名：ホルトロツク氏大砲測量及ビ築城図解／印：「金沢学校」「ハルトリー大坂十六番」

※ 明治4～5年に大阪川口居留地十六番に商館を構えてたハルトリー商会で扱った図書。

13. E.A.Inglefield : Words of advice to young naval officers.(青年海軍士官への励ましの言葉)【E397/4】

Webb & Hunt, Liverpool, 1864

別書名：イングレフィールド氏海軍幼童心得書／印：「加州海軍局文庫之記章」

＜明治の学校で出版された教科書＞

明治政府は学制を公布して全国の教育の統一を図りますが、明治期には石川県で独自の教科書も出版され続けました。こうした独自の教科書を編纂し、近代教育を担ったのは旧加賀藩の人々で、実学を重んじたとも言われている加賀藩の教育の伝統がこのような形で開花したとも言えるでしょう。

14. 星学初歩【K094.4/1】

大屋愷あつ著 金沢学校 明治4年(1871)

印：「金沢学校蔵版」「金沢学校」「学」

※ 著者の大屋愷あつ(1839-1901)は、加賀藩の洋学者。長崎に留学して、英・米・蘭語、数学・地理・天文・鉄砲学を学び、慶応元年(1865)壮猶館翻訳方となった。明治期は教育界で活躍し、地歴教科書・地図などの著作が多数ある。

15. 金沢名数【K290.3/210】

大屋子郎編 金沢学校 明治5年(1872)

印：「金沢学校蔵版」

※ 銅活字版で印刷。

16. 英語通【K098.3/2】

金沢学校編 金沢学校 明治5年(1872)

印：「金沢学校蔵版」「金沢学校」

※ 金沢で出版された最初の金属欧文活字本。

17. 数学問題集【K094.1/37】

[関口開著] 金沢学校 明治4年(1871)

印：「金沢学校蔵版」

※ 著者の関口開(1842-84)は、もともと瀧川流の算士であったが、独力で洋算を学び、明治に入ると次々に英米の数学書を翻訳した。本書は、のち『新撰数学』として改版し、ベストセラーとなった。

18. 数学問題集 上・下・付録【関口文庫 K094.1/4/1,2,F】

関口開著 石川県学校 明治7年(1874)

※ 本書は関口開の旧蔵書

19. 智環啓蒙和解【K093.7/10】

理雅各著 広瀬渡, 長田知儀訳述 石川県学校 明治6年(1873)

※ 『智環啓蒙』は、1856年香港英華書院刊の英中対訳学習書。アヘン戦争後に進出したイギリス人伝道師ジェームズ=レグ(理雅各)が解説した学校英華書院の教科書として、上段に英文、下段に漢訳を併記したもの。本書は広瀬渡・長田知儀が和訳したもの。

20. 官許大屋愷あつ訳射号万国訳図 西部【K092.9/24/】

大屋愷あつ訳 石川県学校用出版会社 明治9年(1876)

<参考文献>

- ・ 『金沢市史』 資料編 15 学芸 金沢市史編さん委員会編集 金沢市 2001
- ・ 『科学技術の 19 世紀』 石川県立歴史博物館編 石川県立歴史博物館 1993
- ・ 『国史大辞典』 9 国史大辞典編集委員会編 吉川弘文館 1988
- ・ 小松周吉「加賀藩明倫堂の学制改革（一）」（『金沢大学教育学部紀要』 人文科学・社会科学・教育科学編 20 号 1971）

展示資料B 藩校について学ぶための資料

<図書>

No.	書名	巻号	著者名	出版者	出版年	請求記号
1	日本教育史資料	2	文部省 // 編	文部省	1903	372.1/11/2
2	日本教育史資料	4	文部省 // 編	文部省	1904	372.1/11/4
3	日本教育史資料	6	文部省 // 編	文部省	1904	372.1/11/6
4	学校の発達		石川/謙 // 著	岩崎書店	1951	372.1/19
5	日本学校史の研究		石川/謙 // 著	小学館	1960	372.1/44
6	近世藩校の総合的研究		笠井/助治 // 著	吉川弘文館	1960.5	372.1/45
7	幕末教育史の研究	3	倉沢/剛 // 著	吉川弘文館	1986.4	372.1/182/3
8	『日本教育史資料』の研究		日本教育史資料 研究会 // 編	玉川大学出 版部	1986.11	372.1/214
9	「勉強」時代の幕あけ		江森/一郎 // 著	平凡社	1990.1	372.1/226
10	幕末維新时期における「学校」の組織化		幕末維新学校研 究会 // 編	多賀出版	1996.2	372.1/274
11	幕末維新时期漢学塾の研究		幕末維新漢学 塾研究会 // 編	溪水社	2003.2	372.1/10199
12	金沢泉丘高等学校蔵善本解題目録		石川県立金沢泉 丘高等学校 // 編	石川県立金 沢泉丘高等 学校	1981.1	K026/2
13	石川県専門学校洋書目録		金沢大学資料館 // 編集	金沢大学資 料館	2004.8	K029/1018
14	加賀藩旧蔵洋書総合目録		板垣 英治 // 著	金沢大学資 料館	2006.9	K029/1023
15	科学技術の19世紀		石川県立歴史博 物館 // 編	石川県立歴 史博物館	1993.4	K069/25/93-1
16	金沢市史	資料編 15	金沢市史編さん 委員会 // 編集	金沢市	2001.3	K222/125/2- 15
17	かなざわ偉人物語	1巻	金沢こども読書 研究会 // 編	金沢市立泉 野図書館	1997.2	K280/144/1
18	石川県教育史	第1巻	石川県教育史編 さん委員会 // 編	石川県教育 委員会	1974.3	K372/13/1
19	郷土数学		田中 鉄吉 // 著	池善書店	1937.6	K410/5
20	明治金澤の蘭方医たち		山嶋/哲盛 // 著	慧文社	2005.7	K490.9/1002
21	加賀藩洋書の総合的研究		板垣/英治 // 著	板垣英治	2015.12	K490/1040
22	郷土工業物語		山森 青硯 // 著	金沢印刷	1988.2	K502/14
23	時代に挑んだ科学者たち		19世紀加賀藩 「技術文化」研 究会 // 編	北國新聞社	2009.6	K502/1004
24	兼六園を読み解く		長山 直治 // 著	桂書房	2006.12	K629/1015
25	「加賀国学蔵版」印について		山森 専吉 // 編	青硯文庫	1968	K739/4

<論文>

資料 ID	論文タイトル	著者名	雑誌名	巻号	出版年
26	加賀藩の軍制改革と壮猶館	倉田守	北陸史学	第52号	2003
27	加賀藩明倫堂の学制改革 (一)	小松周 吉	金沢大学教育学部紀要. 人文 科学・社会科学・教育科学編	20号	1971
28	加賀藩明倫堂の学制改革 (二)	小松周 吉	金沢大学教育学部紀要. 人文 科学・社会科学・教育科学編	21号	1972

第 238 回企画展示  
「加賀藩の藩校資料－第 15 回全国藩校サミッ  
ト金沢大会によせて－」

平成 29 年 9 月 13 日

編集 石川県立図書館展示委員会

発行 石川県立図書館